

MDLシリーズ モータ駆動可変遅延ライン Optical Fiber Delay Lines, Motorized



- スタンドアロン動作とRS-232によるリモート操作
- スキャンの即時中断と現在位置表示
- 電子的にバックラッシュを補正
- 遅延位置をピコ秒とミリメートル単位で読み出し可能
- 相対ゼロ位置設定

MDLシリーズのモータ駆動可変遅延ラインは最高17 cmまでの精密な光路遅延(時間領域では最高560ピコ秒の遅延に相当)を与えられるモータ駆動可変光学遅延ラインです。エンコーダを内蔵したDCモータで駆動されるこの可変光学遅延ラインは330と560ピコ秒モデルの両方で1fsという高い分解能を提供します。コンパクトで堅牢なパッケージに収められたF-MDLシリーズモータ駆動光学遅延ラインはネットワーク装置あるいは試験装置への組み込みデバイスとして理想的です。また、光学距離の精密コントロールとタイミング調節用としてラボでもご使用いただけます。F-MDLの主な応用には時間分割マルチプレクシング(TDM)、パルスアラインメント、光学スペクトル解析、干渉計測などが含まれます。その他、トランスミッター内で発生する反射効果の試験のため、MDLシリーズは反射波の変調位相を変化させる目的にも使用することができます。

仕様

	シングルモードモデル	偏波面保持モデル
波長範囲 (nm)	1,310 & 1,500-1,600	1,310 & 1,500-1,600
光学遅延範囲 (ps)		0 - 330または0 - 560
光学遅延分解能 (fs)		1
光学遅延精度 (ps)		±0.01 (全遅延範囲)
光学遅延再現性 (ps)		±0.01 (全遅延範囲)
動作モード	ポイントごとに設定、連続スキャンとPCコントロール (RS-232)	
挿入損失、代表値 (dB)		1.0
反射損失 (dB)		50
消光比	>18	>18
偏光依存性損失、最大値 (dB)		0.1 dB
最大光学パワー (mW)		300
入力電圧		12 VDC/1A (最大値)
操作温度範囲 (°C)		0 - 40
保管温度 (°C)		-20 - 60
ファイバタイプ	Corning SMF-28	偏波面保存ファイバ
寸法 [in. (mm)] (330PSバージョン)		1.6 x 4.0 x 7.0 (40.6 x 102 x 178)
寸法 [in. (mm)] (560PSバージョン)		1.6 x 4.0 x 7.0 (40.6 x 102 x 178)

発注のご案内

モデル	内容
MDL-1-3-FA-P	モータ駆動可変遅延ライン、1,550 nm、330 ps、PMビッグテール、FC / APCコネクタ
MDL-1-6-FA-P	モータ駆動可変遅延ライン、1,550 nm、560 ps、PMビッグテール、FC / APCコネクタ
MDL-1-6-FP-P	モータ駆動可変遅延ライン、1,550 nm、560 ps、PMビッグテール、FC / PCコネクタ
MDL-2-3-FP-S	モータ駆動可変遅延ライン、1,310 / 1,550 nm、330 ps、SMF-28ビッグテール、FC / PCコネクタ
MDL-2-3-FA-S	モータ駆動可変遅延ライン、1,310 / 1,550 nm、330 ps、SMF-28ビッグテール、FC / APCコネクタ
MDL-2-6-FP-S	モータ駆動可変遅延ライン、1,310 / 1,550 nm、560 ps、SMF-28ビッグテール、FC / PCコネクタ
MDL-2-6-FA-S	モータ駆動可変遅延ライン、1,310 / 1,550 nm、560 ps、SMF-28ビッグテール、FC / APCコネクタ

関連製品



P344参照